

奈良支局

〒630-8114 奈良市芝辻町4の5の7
TEL0742(34)1521
FAX0742(34)5020
o.nara@mainichi.co.jp

【取材網】

榎原0744(23)9724	大和高田0745(52)2862
五條・吉野0747(22)2993	桜井0744(42)2804
王寺0745(73)9691	
【販売本部問い合わせ】	0744(25)1926
【広告問い合わせ】	0742(26)2121

奈良

地域面3ページ→

お年寄りに介助犬を

身体に障害がある人の生活を支える介助犬。会社経営の傍ら、NPO法人「近畿介助犬訓練所」(事務局・生駒市)を2009年に設立した。

「介助犬のニーズが多いのは、実は介護が必要なお年寄り」という。飲み物や日用品の運搬、リハビリの補助、さらに精神的な支え……。自らも家族を介護した経験から、主に高齢の介護世帯への派遣を目指す。奈良市小倉町に造った訓練施設に通い、現在はラブラドルレトリバーなど5頭を「一人前」に鍛えている。しつけは厳しいが、物心ついた頃から犬が好き。「かわいさに根性負けするか、いつも勝負です」と笑う。

近畿介助犬訓練所 理事長 柳本忠二さん(67)＝東大阪市

やまと 人模様



訓練中の介助犬と柳本忠二理事長
＝奈良市小倉町の近畿介助犬訓練所で

10年前、体調を崩して入居、愛犬と遊んだ。投げた院した。退屈で夜な夜な病ものを取ってこさせるうち室を抜け出して公園へ行「物覚えがいい」と気づいた。

た。京都の警察犬訓練所に入れると、奈良県であった警察犬の競技大会で臭気選別のチャンピオンになった。

当時、妻の母親が寝たきりになっていた。警察犬の訓練を見学する中で「家庭犬のしつけの高度なもの。自分でやってみよう」と思い立ち、2階建ての自宅に訓練を始めた。

今年4月、専門学校を卒業したばかりの訓練生を2人雇い、訓練所に住み込みで修業させる。犬の繁殖も春から始める予定。50、60頭を見込み、主に奈良県内の「犬を家族として受け入れてくれる世帯」に無償で派遣する。

幼少の頃、拾ってきた子犬を捨ててくるよう母親に言われた。毛糸で作った首輪を付けて別れた時のことを今も思い出す。「人のために天寿を全うした介助犬の『生きた証』を残したい」。いつか霊園も造りたいと考えている。

【千脇康平】

やなぎもと・ちゅうじ 現在の和歌山県紀の川市生まれ、精密器械メーカー「レザック」社長、大阪市産業経営協会会長を務める。近畿介助犬訓練所への問い合わせは事務局(0743・71・0558)。